

令和 6年度 社会福祉法人湘南愛心会 事業計画

①介護老人保健施設かまくら

- ・入所年間平均109.5名(稼働91.3%)、通所年間平均暦日で41.3名(稼働68.8%)を目標とする
- ・通所リハビリの集客を図り、短時間・長時間ともに利用者の増加を図る
- ・施設のレクリエーションにおいて外出機会を増やし、ボランティアの受け入れをする。
- ・掲示板やブログを利用した広報活動の活性化をする。
- ・職員の定着と労働意欲向上を高め、リーダー育成を目的とした外部研修への参加を促す。
- ・接遇の改善(言葉かけをより丁寧に)し、職員同士の意見交換の場を設ける
- ・BCP(業務継続計画)を基に、事故防止・防災対策委員会を中心とした訓練を実施する。
- ・10月から大規模修繕を予定。職員と入所者が快適に過ごせる環境を整備する。
- ・神奈川認証ベストセレクト取得に向けて5月末までに申請をする。

②特別養護老人ホームかまくら愛の郷

- ・入居年間平均124.7名(稼働95.9%)、通所年間平均暦日で17名(稼働56.6%)を目標に設定
- ・施設のレクリエーションで外出機会の増加や地域の方々へ向けた見学会、地域貢献活動の活性化
- ・インスタを利用した広報活動の活性化。ボランティアの受け入れを開始
- ・職員の定着と意欲向上を図る。外部研修を再開する。更なる稼働率の低下を目標とする
- ・見守りシステムや記録システムの有効的な活用と職員の負担軽減、データベース化の構築
- ・2024年度は喀痰吸引研修・医療的ケア教員研修会の実施を計画
- ・「職員ひとり一人が愛の郷に愛着を持ち、一体感で施設運営する組織づくり」というスローガンを年度目標の一つに掲げる
- ・「夢を叶えるプロジェクト」「職員公募企画のプレゼンテーションを実施」

③特別養護老人ホーム逗子杜の郷

- ・入居年間平均113.2名(稼働率94.3%)に目標を設定
- ・相談員とケアマネがチームとなり、ロングショートを入居に切り替えたり、緊急入所や行政からの措置入所などタイムリーな受け入れをして稼働の安定に努める
- ・ブログを利用した広報活動をして、職員の採用と利用者獲得の双方に役立てる
- ・職員の定着と意欲向上を図る。外部研修を再開する。更なる稼働率の低下を目標とする
- ・見守りシステムや記録システムの活用
- ・感染シミュレーションの実施・災害BCPの見直し、地域貢献(沼間避難所運営参加)
- ・DT(ダイバーショナルセラピー)をセラピスト専任とした業務で活動開始
- ・ベスト介護セレクト20受賞(ユニットケア)を目指す

施設目標

- ・介護・看護(自身の業務)に笑顔で接し、楽しみながら日々を過ごす姿勢
- ・施設一丸となって運営に参画できる組織づくりを目指す
- ・職員ひとり一人が目標を持ち、向上心を持って働く